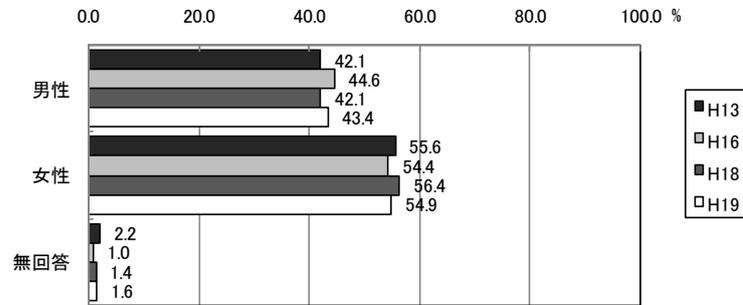


3 市民意識調査の回答者の特性

3-1 性別

性別をみると、“女性”(54.9%)の割合が高い結果となっている。

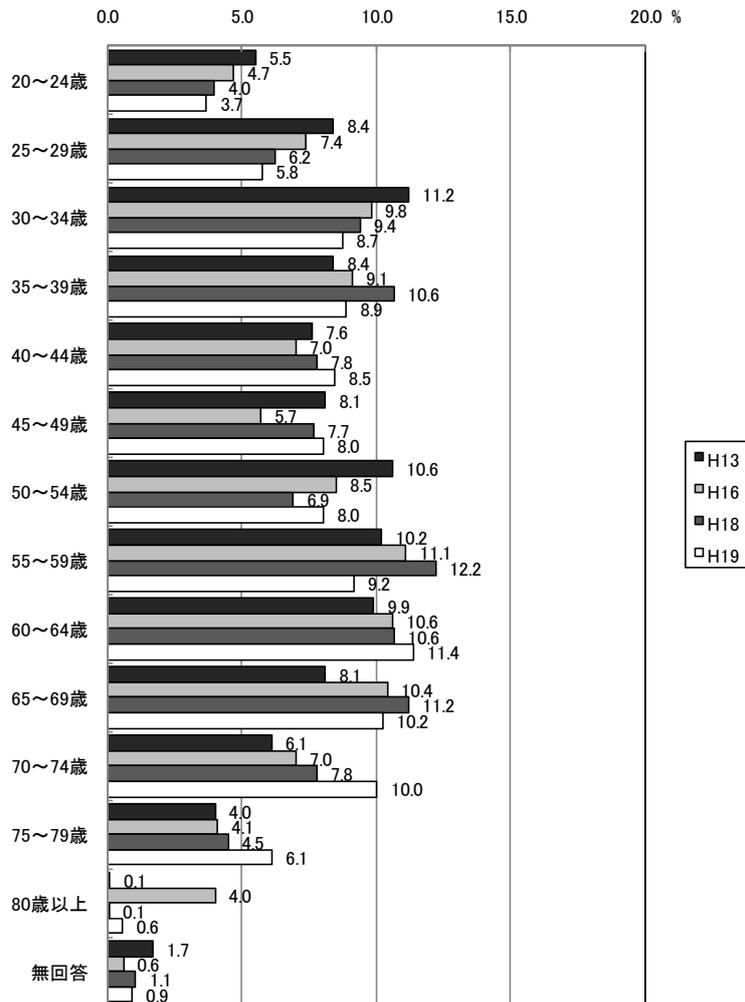
【性別】



3-2 年齢

年齢は、前回、前々回に比べると40歳代、“50～54歳”、“60～64歳”、70歳代の割合が増加しており、20歳代、30歳代、“55～59歳”、“65～69歳”の割合は減少している。

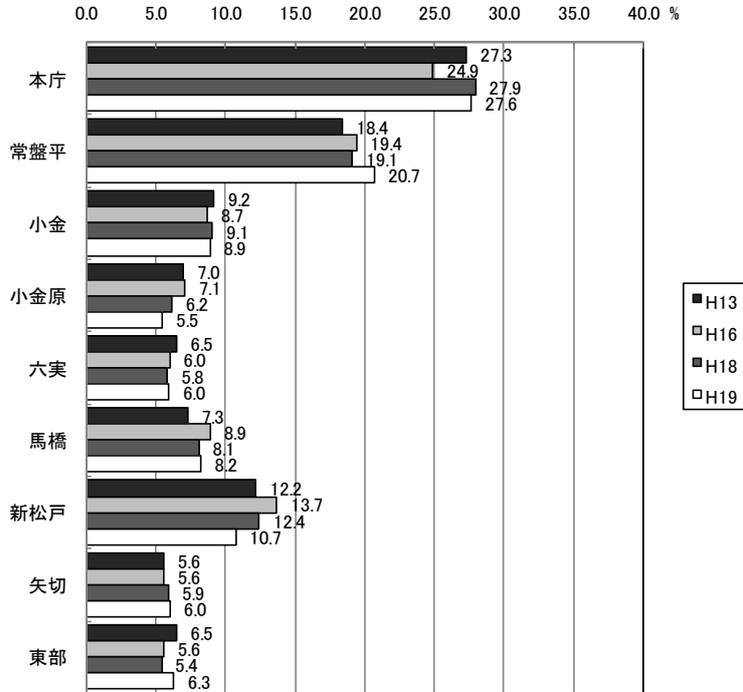
【年齢】



3-3 地区別

地区(支所管区)別では、“本庁”が27.6%で最も高く、次いで“常盤平”(20.7%)、“新松戸”(10.7%)となっている。

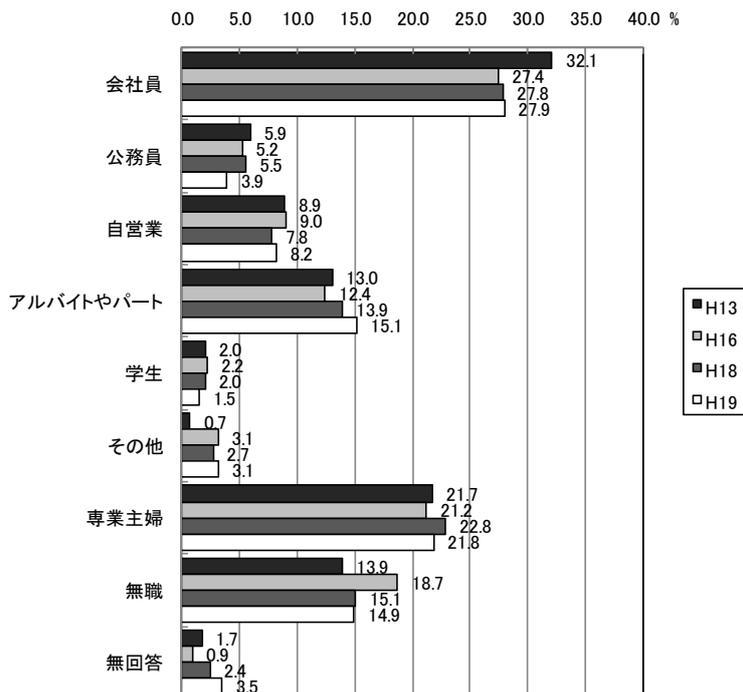
【地区別】



3-4 就労状況

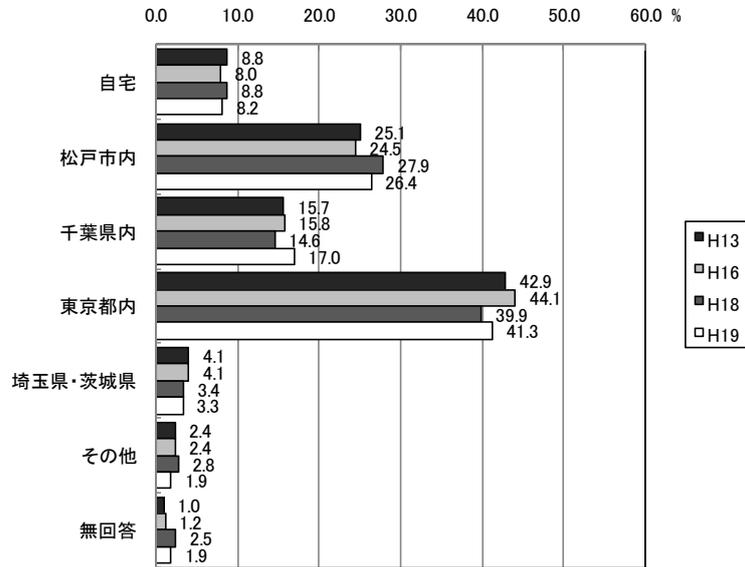
就労状況は“会社員”(27.9%)が最も高く、次いで“専業主婦”(21.8%)、“アルバイトやパート”(15.1%)の順となっている。

【就労状況】



就労・就学している人の通勤地・通学地は、“東京都内”(41.3%)が最も高く、次いで“松戸市内”(26.4%)、“千葉県内”(17.0%)の順で続いている。前回に比べると“松戸市内”がやや減少し、“東京都内”、“千葉県内”が増加している。

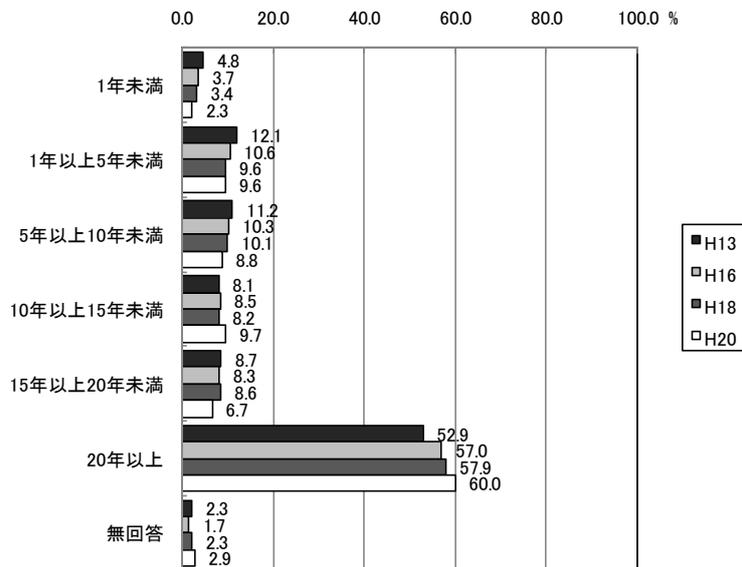
【勤務地・通学地】



3-5 居住年数

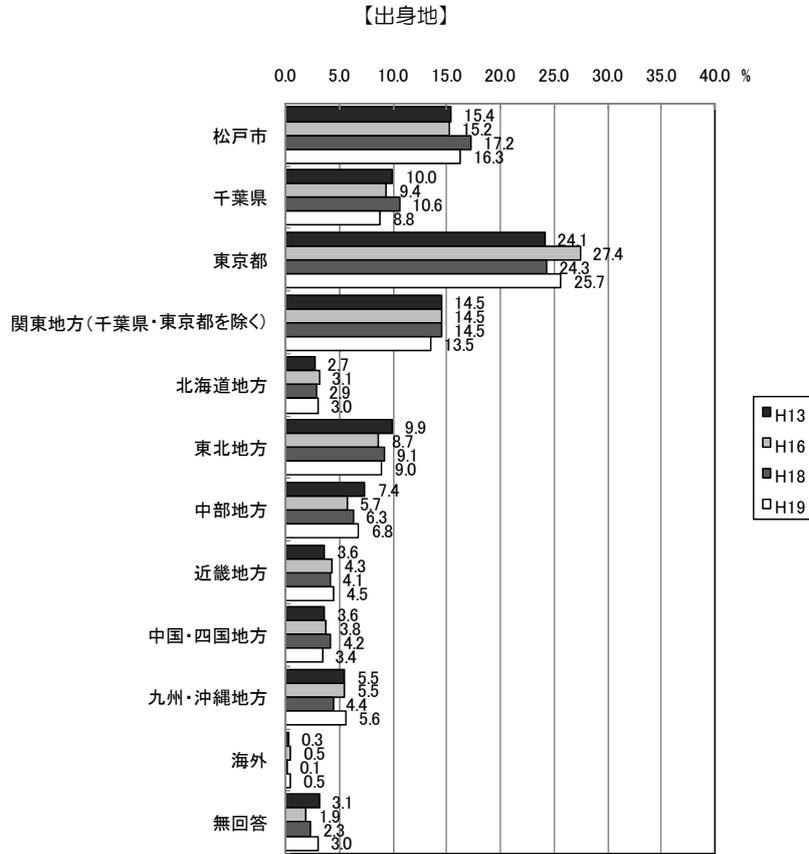
居住年数については、“20年以上”が60.0%と半数以上を占めており、徐々に増加している。

【居住年数】



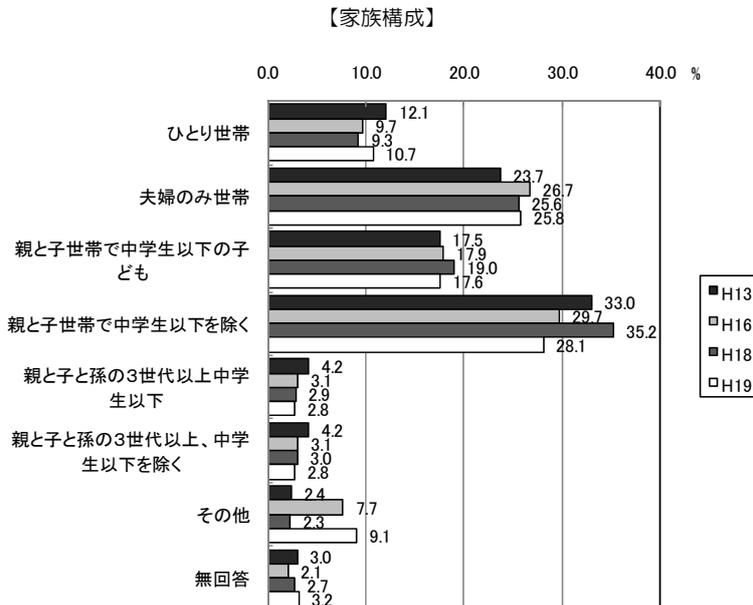
3-6 出身地

出身地については、“東京都”(25.7%)が最も高く、次いで“松戸市”(16.3%)、“関東地方(千葉県・東京都除く)”(13.5%)の順で続いている。



3-7 家族構成

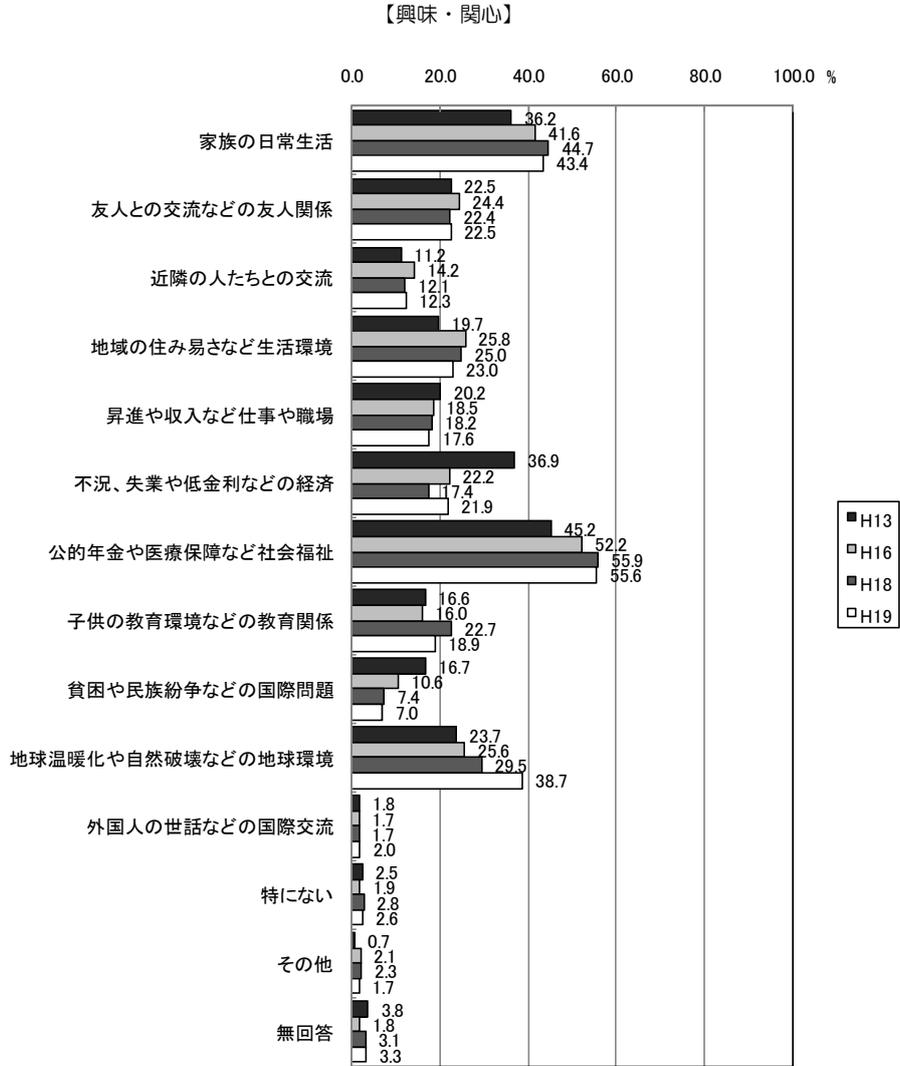
家族構成をみると、“親と子世帯で中学生以下を除く”(28.1%)が最も高く、次いで“夫婦のみ世帯”(25.8%)、“親と子世帯で中学生以下の子ども”(17.6%)の順となっている。



3-8 興味・関心（複数回答）

興味や関心については、“公的年金や医療保障など社会福祉”(55.6%)、“家族の日常生活”(43.4%)、“地球温暖化や自然破壊などの地球環境”(38.7%)の順となっている。

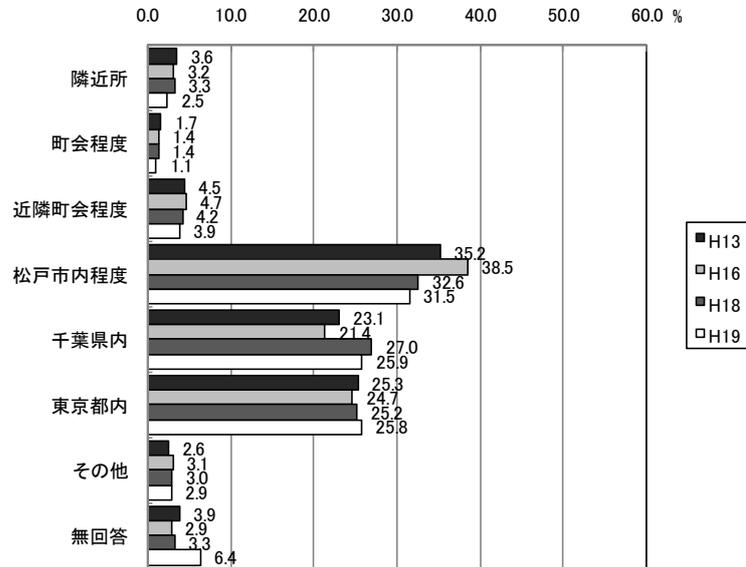
前回、前々回との比較では、“地球温暖化や自然破壊などの地球環境”、“不況、失業や低金利などの経済”が増加し、“子供の教育環境などの教育関係”が減少している。



3-9 日常的な行動範囲

日常的な行動範囲をみると、“松戸市内程度”(31.5%)が最も高く、次いで“千葉県内”(25.9%)、“東京都内”(25.8%)の順となっている。前回との比較では、“松戸市内程度”、“千葉県内”がやや減少し、“東京都内”がやや増加している。

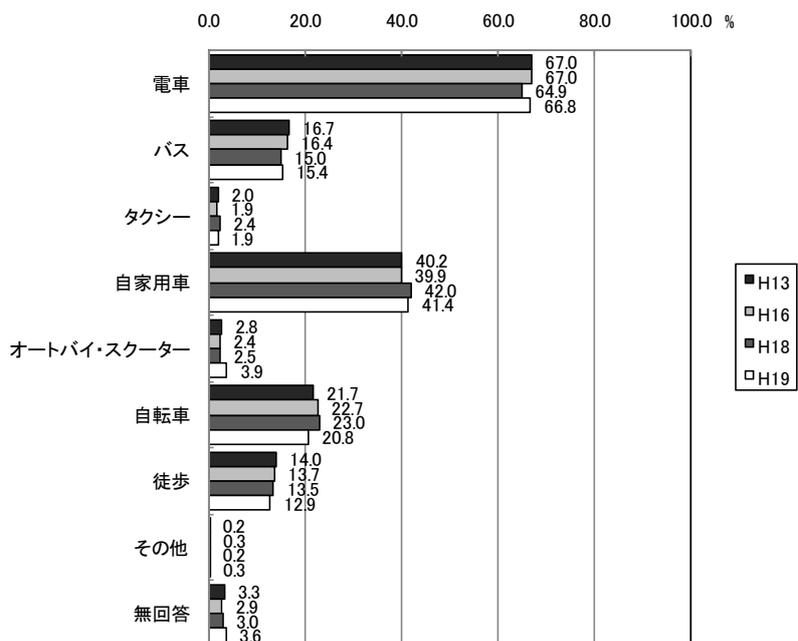
【日常的な行動範囲】



3-10 主な交通手段（複数回答）

主な交通手段については“電車”(66.8%)が最も高く、“自家用車”(41.4%)、“自転車”(20.8%)がこれに続いている。前回、前々回との比較でもほぼ同様の傾向となっている。

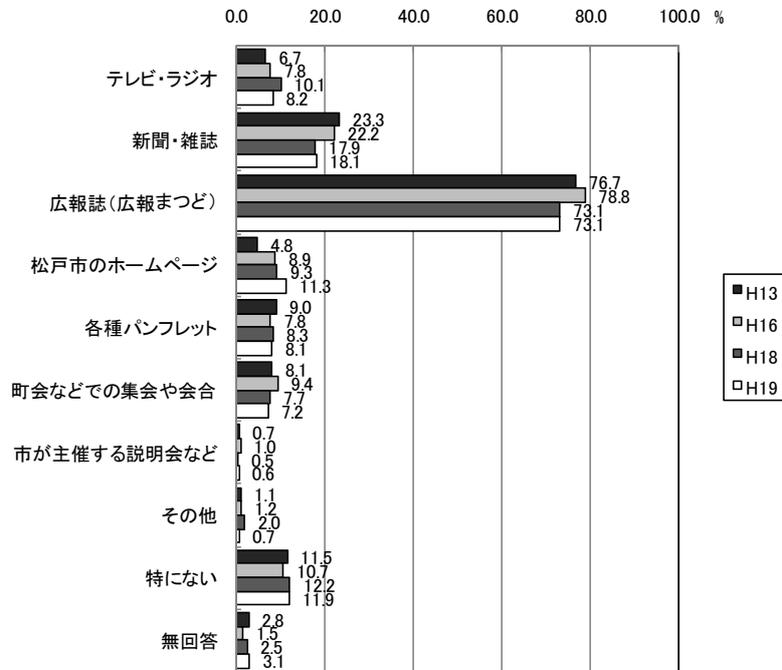
【主な交通手段】



3-1-1 行政情報の入手手段（複数回答）

行政情報の入手手段については、“広報誌(広報まつど)”(73.1%)が圧倒的に高く、全体の7割以上を占めており、次いで“新聞・雑誌”(18.1%)となっている。“松戸市のホームページ”が徐々に増えている。

【行政情報の入手手段】



3-1-2 行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、“どちらとも言えない”(36.3%)が最も高く、次いで“あまり満足していない”となっている。前回との比較では、“あまり満足していない”、“ほとんど満足していない”が減少し、“まあまあ満足している”、“どちらとも言えない”が増加している。

【行政サービスに対する満足度】

